

令和4年度 第3回中郷区地域協議会次第

日 時:令和4年7月6日(水)18時30分～

場 所:中郷区総合事務所 第4会議室

1 開 会

2 報 告

(1)地域活動支援事業の採択結果について

(2) 江端三叉路の信号機廃止について

(3) 中山間地域農業の維持・振興に向けたワークショップの開催状況と今後の展開について

3 協 議

(1) 新たな自主的審議事項について

- ・アンケート集計結果から課題の絞込み
- ・今後の進め方

4 その他

5 閉 会

令和4年度 中郷区地域活動支援事業採択一覧

No.	事業の名称	提案団体	分野の別 (提案書の記載を基に仕分け)	事業内容の概要	事業費内訳	総点数 (30点満点)	順位	事業費等(単位:千円)	
								事業費	補助採択額
1	中・長期的な中郷区PR動画の制作	事業 NPO法人 中郷区まちづくり振興会	<ul style="list-style-type: none"> 地域自治を担う人材の育成又は確保 住民間の支え合い 福祉の増進 社会教育の推進 まちづくりの推進 学術、文化、芸術、スポーツの振興 環境の保全 地域の安全 子どもの健全育成 情報化社会の発展 経済活動の活性化 	中郷地域の四季を通じた観光資源を広く発信するために効果的なプロモーション動画を制作する。機材等の老朽化が進み、またこれまでは個人所有の機材を使用していたため、最新の撮影機材、編集機材を購入し、本格的な映像制作に取り組む。各地域イベントの記録として留めるだけでなく、思い出として永く残る映像作品を世に生み出し、今後の参加者増加を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 撮影機材購入費:683,286円 動画編集、企画書作成専用ノートパソコン:351,850円 	17.30	7	1,036	1,000
2	中郷区高齢者いきいき支援	事業 中郷区老人クラブ連合会	<ul style="list-style-type: none"> 住民間の支え合い 福祉の増進 社会教育の推進 まちづくりの推進 学術、文化、芸術、スポーツの振興 	グラウンドゴルフ大会やノルディックウォーク研修会、手芸やガーデニングなど多彩な用品・用具・技能を用いた体験の場を提供し、高齢者の「やりたい気持ち」「できた達成感」を引き出すことで認知症予防や介護予防、閉じこもり防止を目指す。グラウンドゴルフ用スティックやボールを購入し、大会での使用のほか、中郷区の住民及び団体を対象に貸出を行う。	<ul style="list-style-type: none"> 報酬費:48,000円 消耗品費:684,453円 食糧費:56,200円 手数料:3,168円 保険料:10,280円 通信運搬費:11,088円 備品購入費:168,260円 原材料費:57,200円 旅費:99,760円 その他(ボールレンタル料、資料代、自立体力検定料):148,000円 	24.50	2	1,287	994
3	「縄文の郷」具現化	事業 縄文学校	<ul style="list-style-type: none"> 社会教育の推進 まちづくりの推進 学術、文化、芸術、スポーツの振興 	縄文時代から先人が培った歴史と文化を学び、後世に引き継ぐことを目的に、基礎講座や出前講座、体験事業などを開催する。泉縄文公園にR4から2か年かけて市民手作りによる竪穴住居を復元する。	<ul style="list-style-type: none"> 報酬費:48,000円 消耗品費:152,350円 手数料:2,000円 保険料:4,500円 通信運搬費:38,400円 使用料及び賃借料:202,800円 原材料費:30,000円 239,300円 旅費:28,704円 	23.60	3	968	906
4	地域でもっと楽しく、もっと健やかに暮らせる	事業 一般社団法人 中郷区さとまる学校	<ul style="list-style-type: none"> 地域自治を担う人材の育成又は確保 住民間の支え合い 福祉の増進 社会教育の推進 まちづくりの推進 地域の安全 子どもの健全育成 	幅広い年代層の交流を主軸に、地域のイベントや福祉活動に小中学生の思考を向けていくことを目的に掲げ、子供たちが参画できる福祉フェスタや空き家セミナー、カレンダーの配布を行っていく。ノートパソコンを購入しリモート対応環境を整備するほか、高齢者をはじめとするパソコン操作個別指導を行う。子どもたちから出た「大好き中郷」を車両にラッピングし、イメージを地域にPRし、自助、共助、公助の気持ちが生まれることに期待する。	<ul style="list-style-type: none"> カレンダー製作費:250,000円 講師謝金:80,000円 チラシ制作、印刷費:120,000円 会場設備費:243,000円 運搬費:30,000円 郵送料:10,000円 事務費:20,000円 パソコン:142,692円 コロナ対策備品:10,000円 車両ラッピング:99,000円 	26.10	1	1,005	1,000
5	ニュースポーツで交流	事業 中郷区身体障害者福祉協会	<ul style="list-style-type: none"> 福祉の増進 社会教育の推進 学術、文化、芸術、スポーツの振興 子どもの健全育成 	障害を持っている方が健康でいきいきとした生涯をおくるために、ポッチャの用具を購入し、誰もが気軽に体育・スポーツ活動に親しむ機会を提供する。障害者と小・中学生がスポーツを通して交流する場を提供することで、「共に生きる」を実践できる福祉教育の機会となる。	<ul style="list-style-type: none"> 消耗品費:10,113円 保険料:1,120円 印刷製本費:7,205円 通信運搬費:3,162円 3,512円 備品購入費:158,400円 237,600円 	23.10	4	260	259
6	今も名残がある二本木・松崎宿を未来につなごう	事業 二本木・松崎宿保存研究会	<ul style="list-style-type: none"> 社会教育の推進 まちづくりの推進 学術、文化、芸術、スポーツの振興 	旧北国街道、二本木・松崎宿という歴史あるまちを、北国街道宿場案内図の増刷、のぼり旗の掲出、雪灯籠の街道を行うことで、町内会、老人会、子ども会等で再認識し、醸成することによる愛着できるまちづくりを目指す。	<ul style="list-style-type: none"> 印刷製本費:89,980円 のぼり旗:92,400円 237,600円 灯籠:6,600円 	22.70	6	335	333
7	二本木駅を核とした地域活性化	事業 中郷商工会	<ul style="list-style-type: none"> まちづくりの推進 子どもの健全育成 経済活動の活性化 観光客の誘致、観光資源の開発促進 	二本木駅構内並びに駅前商店街で「スイッチバック市」を開催し、地区内外から集客を集め、交流人口増による地域活性化を目指す。スタンプラリーを実施し、スタンプ収集のための回遊による商店PRに努め、来店頻度向上による地域経済活性化を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 借上料:800,000円 広告費:84,071円 商品代:99,000円 その他(スタッフお茶代、臨時飲食店収入印紙):24,000円 予備費:5,929円 	22.80	5	1,016	1,000
						配分額 5,500千円		5,907	5,492

配分額残額 8千円

新規: 0件
継続: 7件

関係者各位様

平素からお世話になっております。

警察では持続可能な交通安全施設整備を推進し、距離の近い信号機などの見直しを順次しております。

江端三叉路につきましては、国道の信号と日本曹達工場の変速五叉路の信号の間に位置し、その距離が近いことから、見直しさせていただくことになりました。

江端三叉路交差点の信号機を廃止し一時停止交差点にさせていただきます。

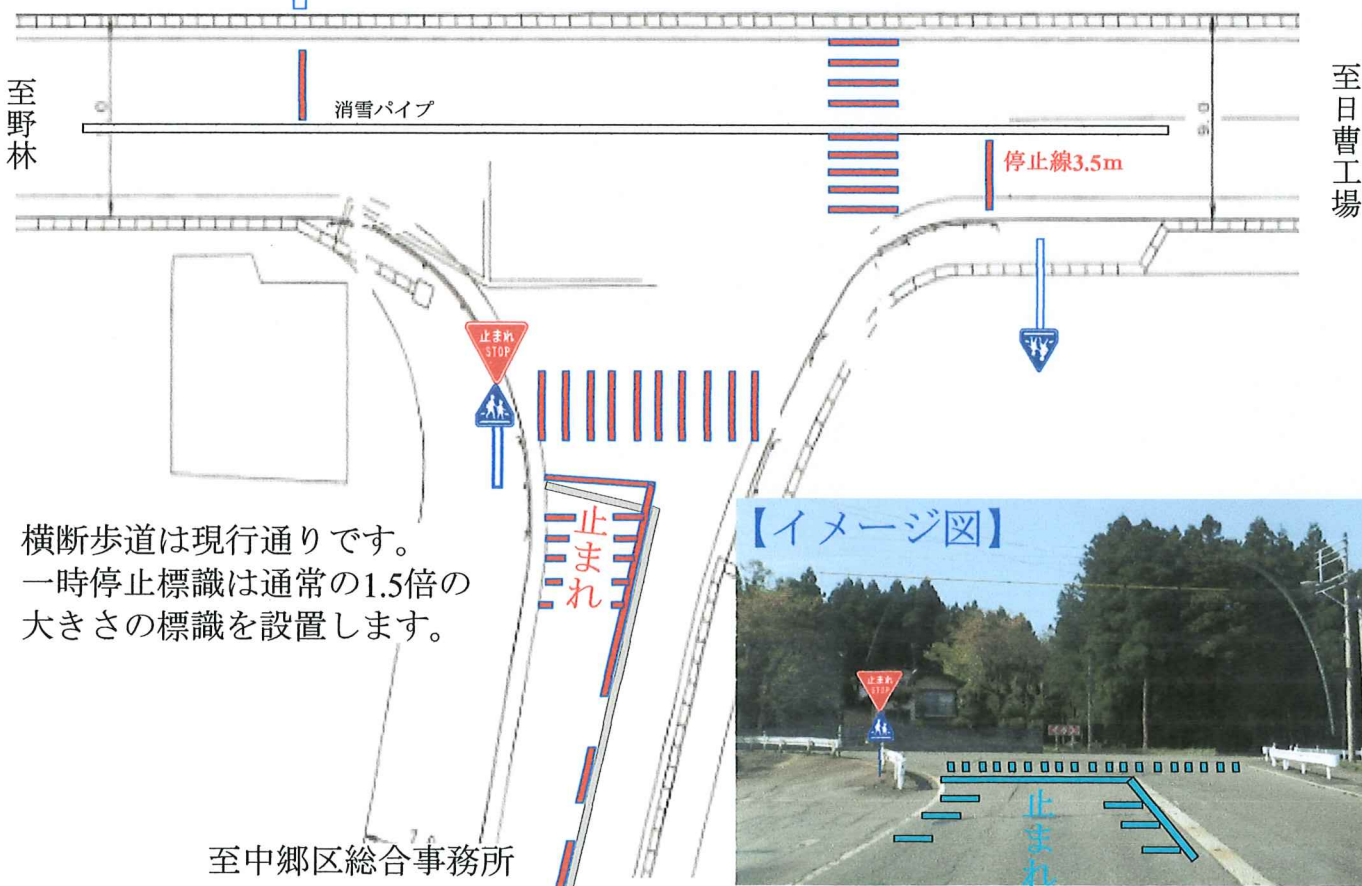
中郷区総合事務所方向から進行してくる側が一時停止になりますので、停止線で停止し、横断者の有無を確認した後、さらに交差点手前で左右の安全を確認してから右折や左折を開始してください。

信号機を廃止することにより、赤信号の待ち時間を短縮しスムーズに通行できる交差点になると思いますので、何卒ご理解頂きたくお願い申し上げます。

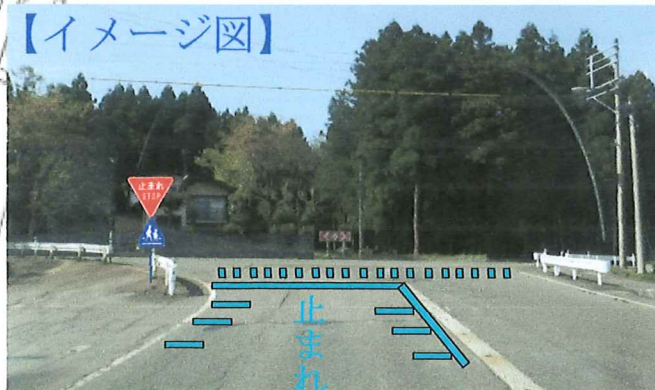
妙高警察署 交通課
電話 0255-72-0110



【一時停止交差点への変更図面】



【イメージ図】



(中郷区ビレッジプラン ～中郷区農業の未来を考える会～)

【上越市の取組】

1 趣 旨

中山間地域農業が将来にわたって維持されるよう、令和3年度から、それぞれの地域における課題の解決に向けて取り組んでいく方向性を明確にする“農業の将来ビジョン”の作成に向けて、「みらい農業づくり会議（ワークショップ形式）」を全市的に展開しているところであるが、令和3年度の実施結果等を踏まえ、今後の展開と方向性を次のとおり定めるもの。

2 推進体制

集約先総合事務所（柿崎区、浦川原区、板倉区）単位に設置した「推進チーム※」が主体となり、農業者等が参加するワークショップ形式の「みらい農業づくり会議」を開催する。

※ 上越地域振興局農林振興部普及課、JA えちご上越、市農林水産部、区産業G等

3 対象地域（7地域自治区：継続）

集落間の連携や新たな取組への発展・波及を目指し、広域的観点から地域自治区単位で実施する。

谷浜・桑取区、安塚区、大島区、吉川区、牧区、板倉区及び名立区

※ 但し、浦川原区、柿崎区、中郷区、清里区は、県事業などを活用し別途取組を推進

4 年次計画

令和3年度

第1回 みらい会議	・「農業（人・農地）と地域（コミュニティ）の強みと弱み」の整理 ・「強みを伸ばす、弱みを打開する方策」の検討
第2回 みらい会議	・「将来に向けた4項目の方向性」と「キャッチフレーズ」の決定 4項目：「担い手・後継者の確保」「作物選定・所得の確保」 「農業機械、スマート農機の共有化」「土地利用・農地改善」 ・「今から取り組めるもの、将来取り組むべきもの」の検討

令和4年度

第3回 みらい会議	・「今から取り組めるもの、将来取り組むべきもの」の優先順位の決定 ・「いつ・誰が・どうやって」と「活動のエンジンとなる組織」の検討 ・グループワークに向けた趣旨説明やグループ編成
グループワーク [適宜開催]	・5項目毎のグループワークを適宜開催し、第3回みらい会議の「いつ・誰が・どうやって」と「活動のエンジンとなる組織」の検討結果を踏まえ、具体的な実施計画（案）を検討・策定する
第4回 みらい会議	・グループワーク毎の実施計画（案）の発表とディスカッション ・「活動のエンジンとなる組織」と「将来ビジョン」の決定

令和5年度以降

ビジョンの 実践	・活動のエンジンとなる組織が主体となり将来ビジョンの取組を実践
みらい会議 [適宜開催]	・進捗管理を行うとともに、必要に応じてビジョンの見直しを行う

【新潟県の取組 中郷区ビレッジプラン 担当：上越地域振興局 農林振興部】

1 目 的

中山間地域の営農や集落機能を維持発展させるため、地域住民の主体的な参画による継続的な取り組みを実施する方や、それを的確にサポートできる人材を養成するとともに、地域の将来プラン策定、活動組織づくりなど中長期的な取り組みを、県、市町村、関係機関などの連携のもと伴走型で支援する

※ 支援機関 JA えちご上越中郷支店、頸南営農センター、市農村振興課、中郷区総務地域振興G、板倉区産業G、上越地域振興局農林振興部普及課、農業企画課

2 ビレッジプランの基本理念

- 住民の主体的参画
- 県、市町村、関係機関のパートナーシップで支援
- 長期的現実的な目標を持った展開

3 中郷区ビレッジプラン

■ これまでの活動 中郷区農業の未来を考える会

回数	開催日	内 容	参加者
準備会	R 2. 8. 19	人口シミュレーションの実施（別紙1） ・人口、農業就業人口の現状と、安定化の定住目標の確認、および農業の強み、弱みの意見出し	11名
第1回	R 2. 9. 1	地元関係図の作成 ・地域の人、組織、企業、施設の繋がりを整理し、地域の強みや弱みから、未来につなぐ方策を検討	10名
第2回	R 2. 10. 27		9名
第3回	R 2. 12. 9		10名
第4回	R 3. 3. 24	農業・地域の担い手確保3本柱の策定 ①中郷区ブランドづくり②都市農村交流の促進 ③女性の活躍の場創出	10名
第5回	R 3. 7. 20	「ネマガリダケの商品化」の先行的な取組実施 ・イベント企画の検討 3本柱の検討	9名
第6回	R 3. 9. 7		6名
第7回	R 3. 10. 27		7名
第8回	R 3. 11. 17		6名
第9回	R 3. 12. 22	ビレッジプランの作成と地元関係図の集約（別紙2）	8名

中郷区だけのこ狩り体験

日 程 令和4年5月29日(日)午前10時30分～午後1時
 収穫体験 中郷区岡沢 ネマガリタケ栽培畑
 昼食 中郷区二本木 JA えちご上越中郷支店 タケノコ汁とおにぎり
 参加者 中郷小学校区内の2家族7名

■ 今後の予定

- ビレッジプランの実現に向けた地域の主体的な取組を支援

人口及び農業就業人口のシミュレーション（中郷区）

- 5年前と現在の人口の変化
- 30年後の人口のシミュレーション
 - ①現状のまま推移するシミュレーション
 - ②人口等が安定化するシナリオでのシミュレーション

一般社団法人 持続可能な地域社会総合研究所が作成したシミュレーション表による

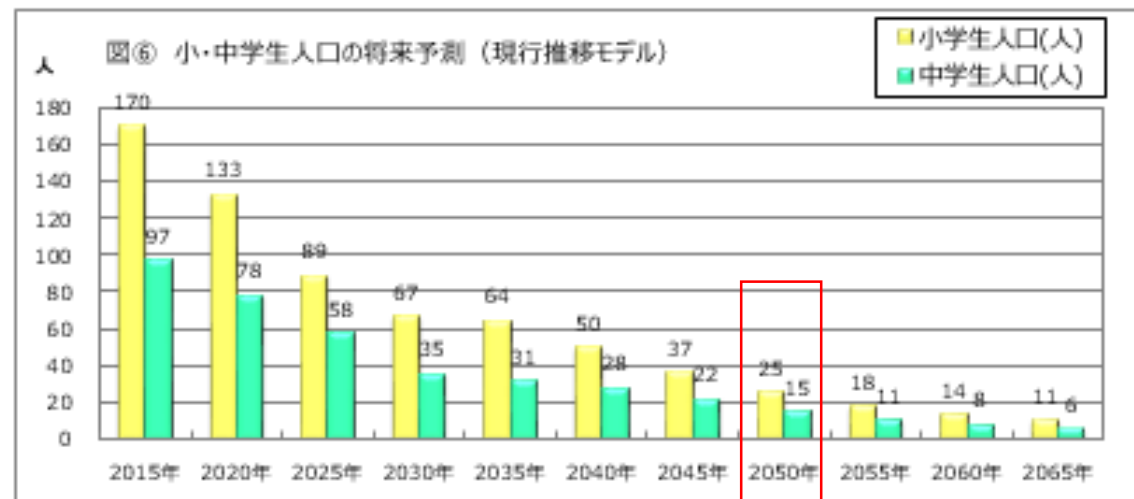
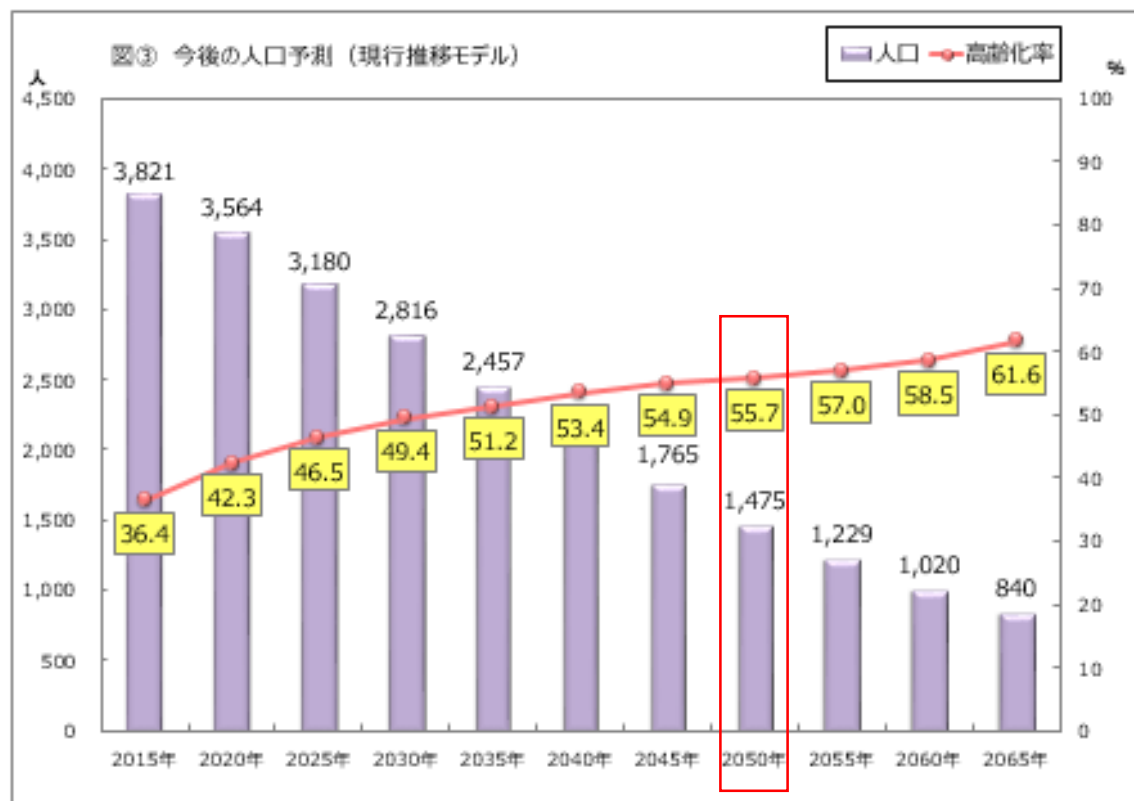
中郷区の人口分析

① 将来予測 〈現状推移シナリオ〉

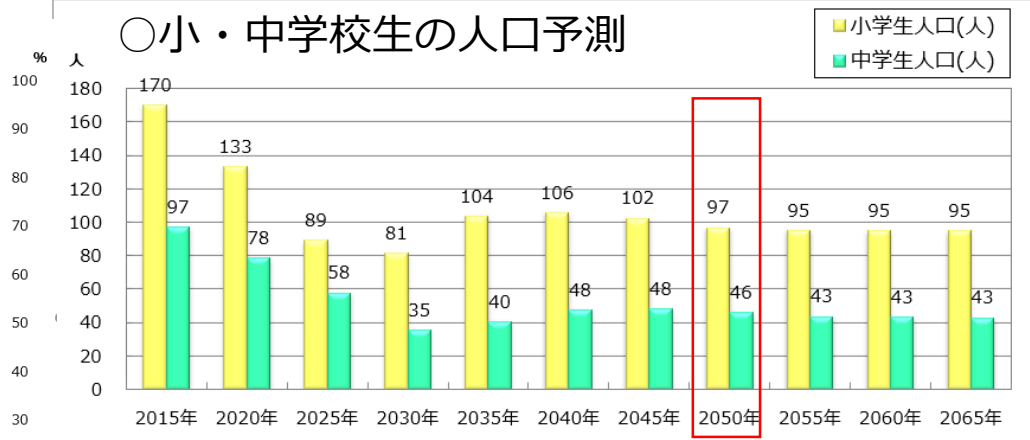
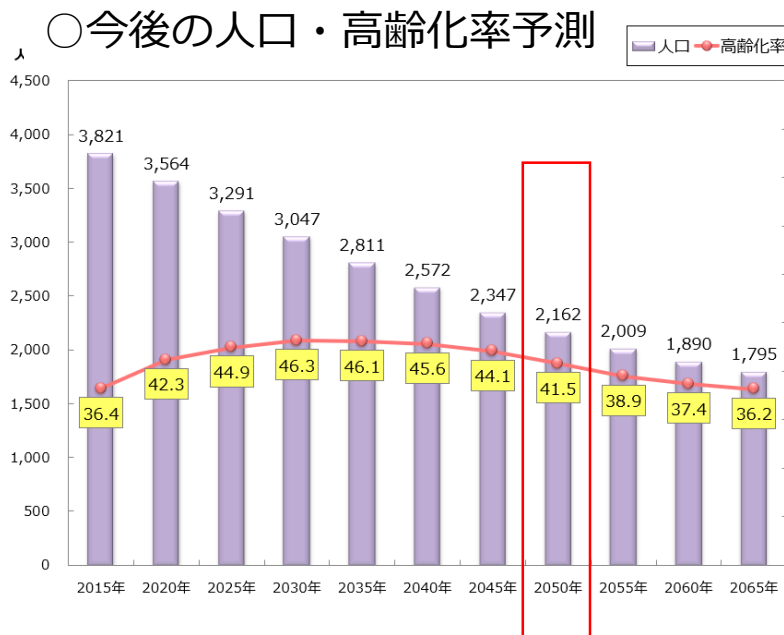
・30年後の対2020年比は

人口総数：	41.40	%
高齢化率：	-13.40	%
子ども人口：	20.40	%

このまま進むと
人口減少
高齢化
少子化
に歯止めが
かからない！



②年間7組の移住者確保パターン（中郷区全体）



・30年後の対2020年比は

人口総数：	60.66	%	※90%以上が望ましい
高齢化率：	0.80	%	※0%以上が望ましい
子ども人口：	90.40	%	※90%以上が望ましい

●定住増加組数

20代は3組、30代・60代は2組

= 現在人口の0.45%（223人に1人）

20代前半男女1組（2名）



3.0組

30代子連れ夫婦1組（3名）



2.0組

60代定年帰郷夫婦1組（2名）



2.0組

合計

7組

16人

中郷区の定住者確保目標（まとめ）

- ・年7組の定住者確保を続けることで、30年後の高齢率は現在の水準（40%程度）で、人口は60%程度で安定する。
- ・農業就業人口は、年7組の移住世帯の1/4（年2組）が就農すれば現在の水準が維持される



一方で..

中郷区全体で定住者確保目標を設定すると、負担感が大きくなる



中郷区24集落のうち、毎年どこか7集落で定住者を確保できればよい
→実現可能な目標を共有することが重要

「良いところ」のまとめ

ひと

- ①やさしい人、いい人が多い
- ②まとまりがあって、連帯感が強い
- ③まじめな人が多い

土地

- ①豊かな風土（空気、水（雪）、景観）
- ②ほ場条件がよい（整備状況、土壌）
- ③田んぼがきれい（ていねいな草刈り）

もの

- ①食味がよく、品質の高い米が獲れる
- ②反収が多い
- ③様々な作物（野菜、山菜など）がある

「改善すべきところ」のまとめ

ひと

- ①高齢化と人口減少
- ②担い手の確保
- ③担い手間の協力体制

土地

- ①雪が多い
- ②ほ場が小さい、用水の便が悪いところあり
- ③段差の大きい地形（草刈りが大変）
- ④獣害（イノシシ）増えている

もの

- ①米に偏っている
- ②反収少ない
- ③農業収入少ない

○ 地域が目指す10年後の姿

- 1 中郷区ならではの農林資源を活かした新たな特産品の提供等による地域内外の消費拡大
- 2 都市と農村の交流拡大と女性の活躍による新規ビジネスの創出と定住促進
- 3 担い手間連携や中山間直払集落協定の統合等による集落機能の維持と営農の継続

○ 基幹的農業従事者の定住目標

<地域人口> 毎年7組の移住世帯を確保

⇒ (30年後) 高齢化率：現在水準の40%程度 人口：現在の60%程度で安定

<農業就業人口> 毎年2組(移住世帯の1/4)が就農 ⇒ 現在の水準維持

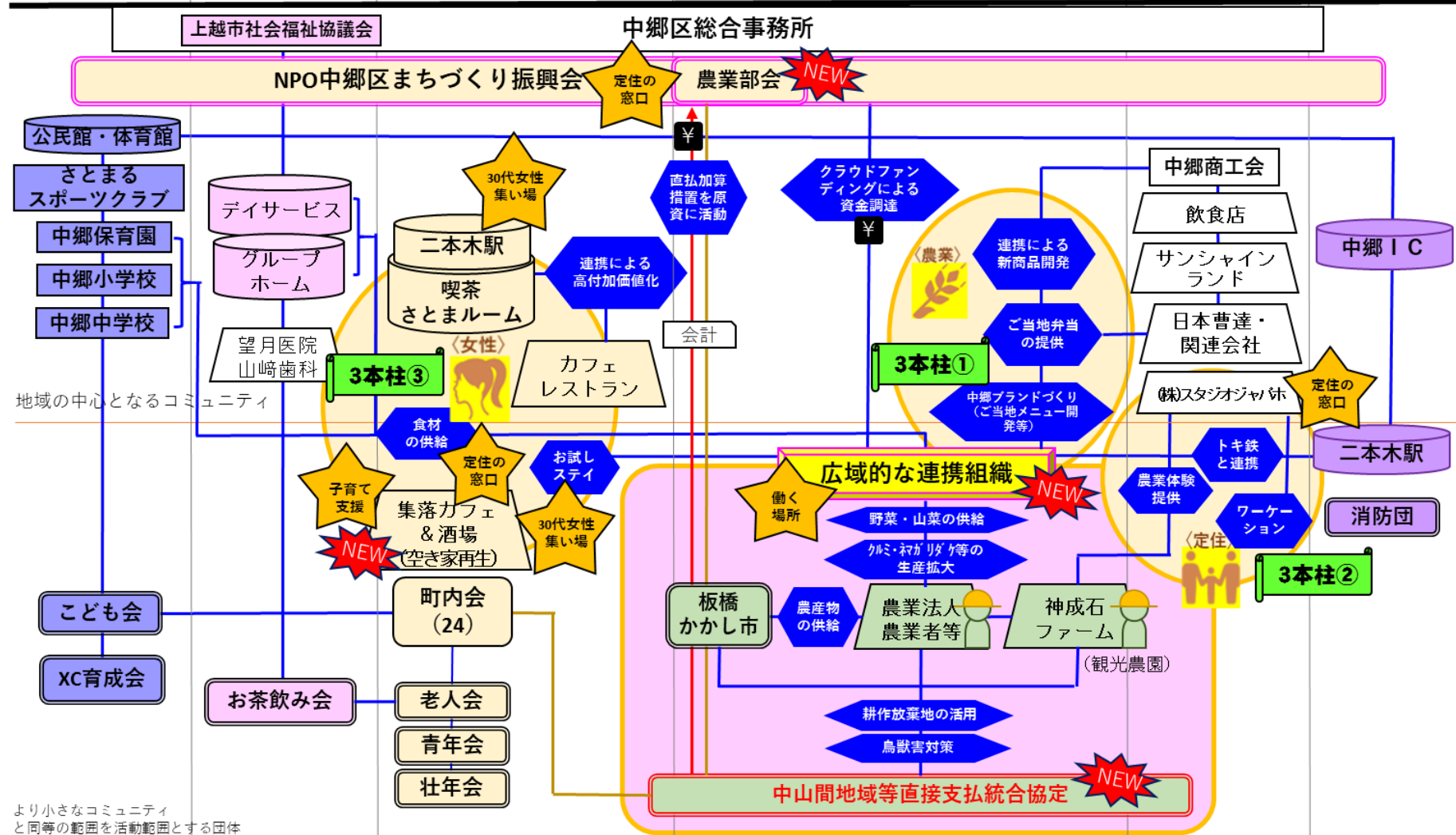
○ 地域人口

- | | |
|----------------|----|
| ・20代前半男女(2名) | 3組 |
| ・30代子連れ夫婦(3名) | 2組 |
| ・60代定年帰郷夫婦(2名) | 2組 |

○ 基幹的農業従事者数

- | | |
|------------------|------|
| ・20代前半男女1組(2名) | 0.6組 |
| ・30代子連れ夫婦1組(3名) | 0.6組 |
| ・60代定住帰郷夫婦1組(2名) | 0.6組 |

上越市中郷地区将来プラン ～ 将来の地元関係図 ～



上越市中郷地区将来プラン ～ 重点的に取り組む内容と取組スケジュール ～

重点取組

具体的な取組内容

短期的（1～3年）

中期的（3～5年）

- 1 「中郷ブランド」づくり
（農業の仕組みづくり）
（取組主体：未定）
- ・特産品づくり
 - ・ご当地メニュー開発
 - ・食材や弁当を学校や企業に提供

- Ⓐ イベント開催（ネマガリダケを使った先行的な取組の実施等）
- Ⓑ 商工会、学生等との連携による独自性のある商品開発
- Ⓑ 商工、観光業等の販路開拓支援
- Ⓒ 広報活動支援（イベント開催等）

- Ⓐ 商品開発に係る品目の生産（ネマガリダケやクルミなど）
- Ⓐ 既存の直売所の多角化
- Ⓐ 鳥獣害駆除

- 2 都市農村交流の促進
（定住につながる仕組みづくり）
（取組主体：未定）
- ・グリーンツーリズムのビジネス化
 - ・ワーケーション誘致

- Ⓐ ネマガリダケやブルーベリー収穫体験の提供
- Ⓐ 観光業者（スタジオジャパホ等）との連携強化
- Ⓑ お試しステイの受入（二宮町との交流復活、田舎体験）

- Ⓒ 空き家情報の拡充と情報発信強化
 - ・空き家のリフォーム
 - ・さとまる学校との連携
- Ⓒ ワーケーションに必要な建物や通信環境の整備

- 3 女性の活躍の場創出
（女性の活躍の場づくり）
（取組主体：未定）
- ・カフェやレストランの開設

- Ⓐ 農産物や加工品の提供

- Ⓑ 二本木駅内カフェとのコラボ企画の展開
- Ⓑ 二本木駅を拠点としたツアーの企画

- Ⓒ **【随時実施】**
起業希望者への支援
移住による起業家への初期経費支援

- 4 必要な体制づくりや
広域連携・条件整備
（取組主体：未定）

- Ⓐ 中山間直払集落協定の統合等による広域連携組織設置
- 後継者不在の法人や担い手に対する支援体制構築（セーフティネット整備）

- Ⓑ NPO等の組織内に農業部会を新設し地域マネジメント機能全般を担う（日本型直払事務、特産品開発等）

- Ⓒ **【随時実施】**
市の農政部門と地域振興部門、JA、振興局等で組織する支援チーム立ち上げ

【凡例】

- Ⓐ : 農業部門
- Ⓑ : コミュニティ部門
- Ⓒ : 行政関係